

省人化、コスト減、画像検査



最先端の技術で製造における検査工程を、 「より安価に、より正確に」実現します。

カメラで撮影した、画像・動画をコンピュータプログラムによって、
解析処理を行うことにより、様々な検査工程を自動化することが可能です。

業務効率化につながる

製品の製造過程では検査要員の確保と教育へのコストがかかります。
検査を自動化することで、検査要員を他業務に配置でき時間と工数を
削減することができます。
高速検査や24時間体制での管理も容易となるため、業務効率化に有効です。

費用が抑えられる

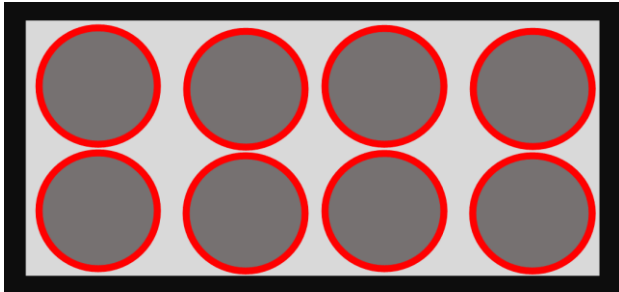
他社大手メーカーのハイスペックな画像検査機器とは異なり、
弊社で取り扱う検査機は「必要な場所に必要な機能」を選択して搭載すること
が可能のため、他社よりも安価に装置をご提供をすることができます。

検査品質が向上する

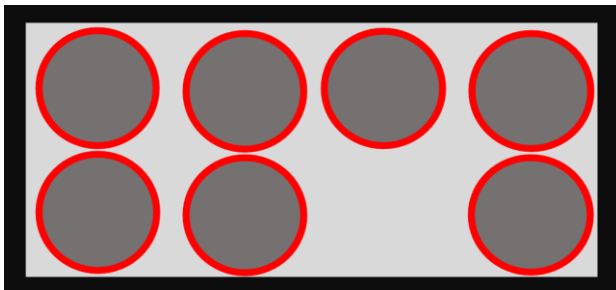
目視での検査では、合格の品質基準が統一されず、品質にはバラつきが生じます。
画像検査を導入することで、検査品質を高水準に保つことができます。
また、検査内容を保存・管理することが可能なため、情報を活用し工程改善に
活かすことができます。

有り無しが「わかる」

OK画像



NG画像



■ 有無・個数判別検査

有無検査は、製品の数量が規定数"有るか無いか"を判別する検査です。

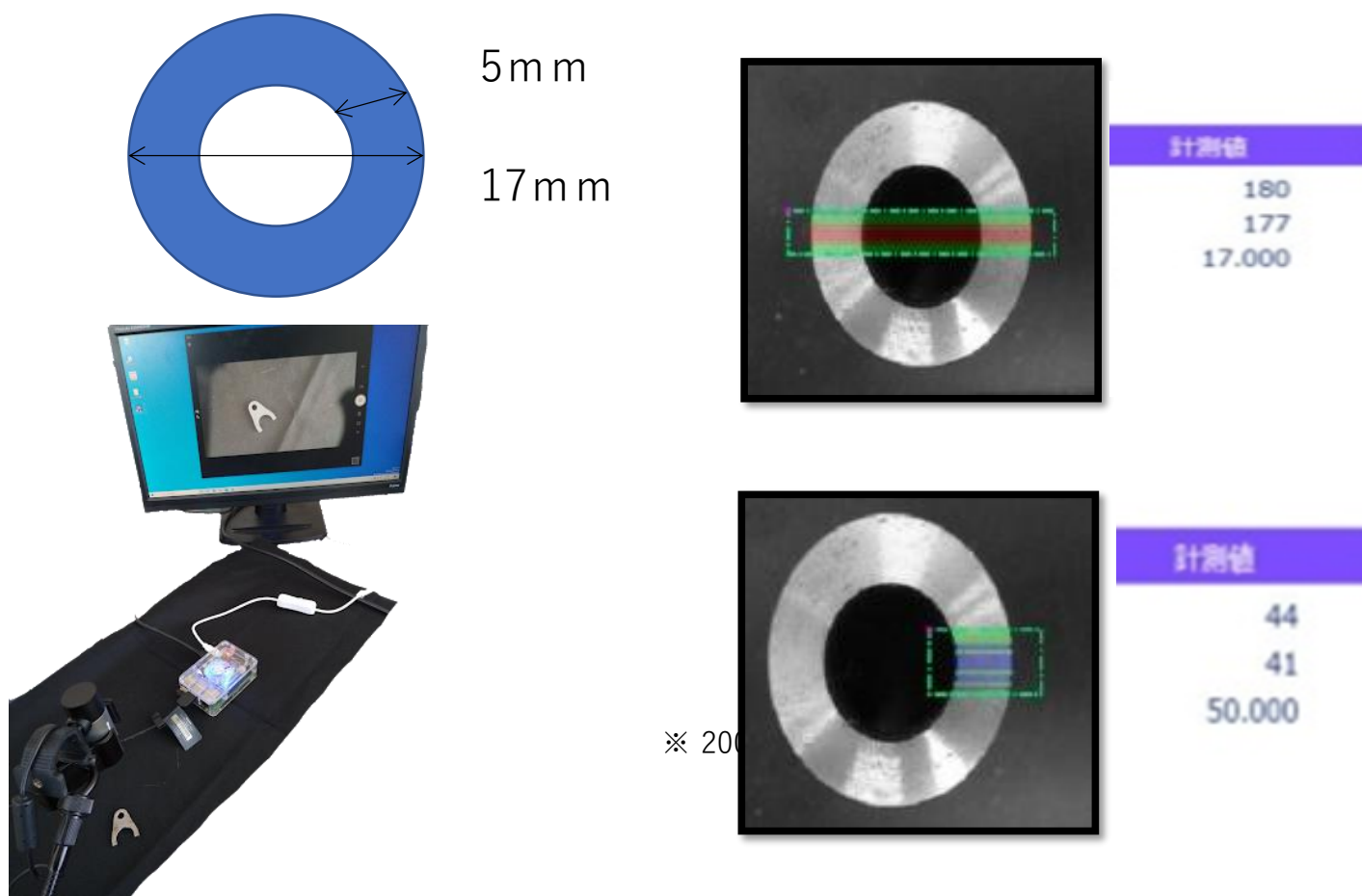
目視で検査する場合、全数検査には労力がかかり、検査数が多いとカウントミス発生リスクがあります。

画像検査を導入することにより、ライン上での検査が可能となり、省スペース・省人化などの効果があります。

以下のような検査を画像検査にて自動化することが可能です。

- ・ 部品・加工品のカウント
- ・ 接着剤塗布の有無検査
- ・ 穴あけ加工の有無検査 など

寸法が「わかる」



■寸法検査

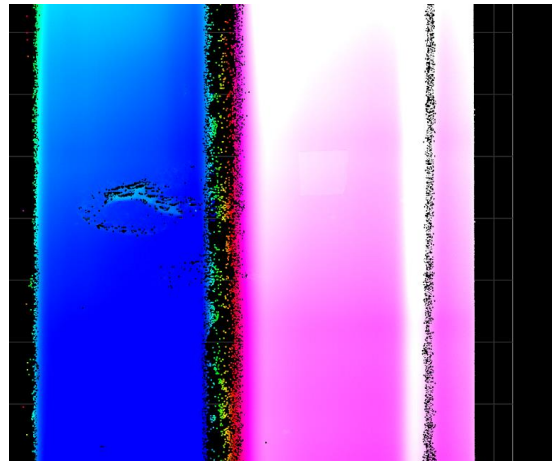
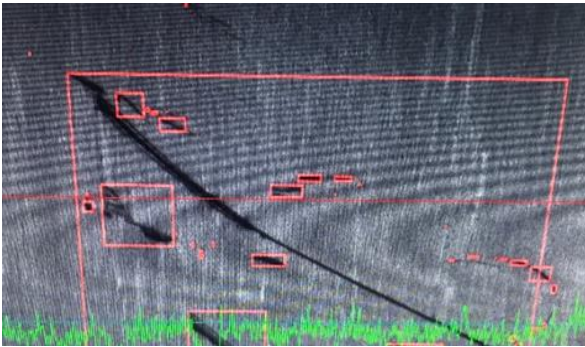
寸法通りに加工されているか合否判定を行う検査です。

マイクロゲージやノギスを用いての検査では、個人差による誤差が生じる可能性が懸念されます。検査治具も交差範囲内に収まっているかどうか合否判定ができませんが、正確な数値を知ることができません。

切り取り検査にした場合、正確性の低下、検査漏れの可能性があります。

しかし、画像処理による寸法検査であればライン上で全数の寸法測定が実現できます。そのため、コストを抑えながら製品品質の安定化が図れます。

キズが「わかる」



■キズ(汚れ・異物・打痕)

製品に付着した汚れや、製造過程で生じたキズを判別する検査です。

微細な汚れやキズは目視での発見が困難なため、数点であれば顕微鏡検査も可能ですが、全数検査を実施することは膨大な時間とコストがかかってしまいます。

そのため、ライン上で全数検査できる画像検査を導入することは業務改善に効果があるといえます。

キズ等の外観検査では、画像処理をし、周囲との濃淡を比較しながら、欠陥を検出することが可能です。大きさや濃さ形状を指定し、対象とする汚れを選別することが可能です。

御社に合わせた設備をご提案いたします。
是非一度お問い合わせください。

合同会社 ICONトレーディング

お問い合わせ

TEL : 070-4320-1481

FAX : 052-804-7288

E-mail : icon-t2020@amail.plala.or.jp

©2021 ICON Trading LLC

